

あつぎ郷土博物館NEWS1月号

展示会
案内

企画展 「あかりの道具—火と光、人の文化史—」 どのように**火**をつけていたの？

あつぎ郷土博物館では、「あかりの道具—火と光、人の文化史—」を開催中です。市内在住の写真家・加藤芳明さんが集めた約700点のあかりの道具、関連資料には、さまざまなタイプが含まれていて、興味が尽きません。

毎年、暮れから2月にかけて、市内の小学校3年生の来館が増えます。その頃、「昔の暮らし」とともに国語科では暗闇の恐怖克服を主題とした「モチモチの木」（斎藤隆介）を学習するからです。本当の暗闇を知らない子供たちは、怖くて外便所で用足しができない主人公の気持ちが理解できません。このことを説明されると、次なる疑問は「マッチ、ライター無しで、どのように火をつけたの？」になります。

写真の資料は、文化8年（1811）の銘がある火打ち箱（上）と携帯用の火打ち袋（下。サイズは52×43mm）。加藤コレクションには、多くの発火具が含まれていますが、舞い切りから、火打石、火打ち金だけではなく、火打ち箱などの周辺資料までカバーするバリエーション豊かな内容です。歴史的、地域的な展開も理解でき、児童の学習、理解の一助ともなりましょう。展示会では、あわせて、博物館が収集してきた地域の灯火具も展示いたします。

現在とは異なる発火方法の道具です。皆さんも、展示室でチェックしてみてください。ぜひお越しください、お待ちしております。



- 会 期：令和7年1月18日（土）から3月2日（日）まで
- 入館料：無 料
- 行事参加費：無料

あつぎ郷土博物館 1月の予定

日	曜日	行 事 内 容	講師等	時 間
NEW 企画展「あかりの道具—火と光、人の文化史—」1月18日から				
*1月3日までは 年末年始休館				
9	木	あつぎの古文書解読会 参加自由	古文書解読会	13:00 ～16:00
16	木	あつぎの古文書解読会 参加自由	古文書解読会	13:00 ～16:00
18	土	企画展関連講座 灯明皿 古代の在地系灯火具の 参加自由 歴史—相模地方を中心に—	富永樹之氏 (県埋蔵文化財 センター)	13:30 ～15:30
23	木	あつぎの古文書学習会 参加自由	古文書解読会	13:00 ～16:00
25	土	企画展関連講座 灯火具の文化史 参加自由 一庶民のくらしとあかり—	小林 克氏 (松蔭大学教授)	13:30 ～15:30
27	月	休 館 日		

収蔵資
料紹介

● 寄贈資料 愛名のクルリンボー(クルリ棒)

郷土博物館には、約60本の穀竿(クルリ棒)が収蔵されているのをご存知でしょうか。特にまとまった展示をしたことはないのですが、そんなに沢山あるとはご存知ないかと思います。博物館の講座ではお話をさせてもらっていますが、厚木のクルリ棒は、主に2種類あります。一つは穀物を打ちつける部分が「杉丸太」のもので南部に分布。もう一方は、北部に見られる「榎木」です。飯山—妻田を結ぶ線で分かれており、理由は現在のところ明確ではありません。厳密にどこで分かれるのか、今回、愛名の方から頂いたクルリ棒は榎木。これまで南毛利地区は杉丸太と考えられていたので、榎木が少し南下しました。本資料を加えた調査研究の現状については、いずれご報告します。



●あつぎ郷土博物館 開館時間 9時から17時まで(入館は16時30分まで)

休 館 日 毎月最終月曜日 年末年始(12/29～1/3)

●古民家岸邸

開館時間 10時から15時まで(入館は14時30分まで)

休 館 日 月曜日と火曜日(祝日の場合は翌平日) 12/23～1/3



(申込み・問合せ) あつぎ郷土博物館

〒243-0206 厚木市下川入1366-4 電話 046-225-2515

Mail 8650-3@city.atsugi.kanagawa.jp

FAX 046-246-3005